



2014年1月

発行：香川県埋蔵文化財センター
〒762-0024
香川県坂出市府中町字南谷 5001-4
tel: 0877-48-2191 / fax: 0877-48-3249
HP: http://www.pref.kagawa.lg.jp/maibun/
E-mail: maibun@pref.kagawa.lg.jp



肌寒い季節となり、今年度も讃岐国府跡の発掘調査が始まりました。

讃岐国府跡の発掘調査は、昭和51年度に開始されて以来、今回で31回目となります。昨年度の調査では、瓦葺きの建物や堀の跡が出土し、国府の中枢施設の一部を確認し、その所在地が明らかになるなど、大きな成果がありました。今年度からは、中枢施設の規模や構造を明らかにする調査となります。

昨年度の調査では、国府の中枢施設の北側を囲う堀跡や建物の一部を確認したのみで、全体の規模を明らかにすることはできませんでした。また、隣接して、開法寺と呼ばれた讃岐国司であった菅原道真の漢詩集「菅家文章」にも登場する寺院が存在しています。そこで、今年度の調査では、国府の中枢施設と開法寺を

分ける堀や溝などの区画施設を確認すると同時に、中枢施設の西部における建物配置を把握することを目的として、開法寺の東側で発掘調査を開始しました。

調査は始まったばかりですが、南北方向に延びる大きな溝跡や多量の瓦が出土しています。大きな成果を得ることができるように、気を引き締めて調査を進めていきます。

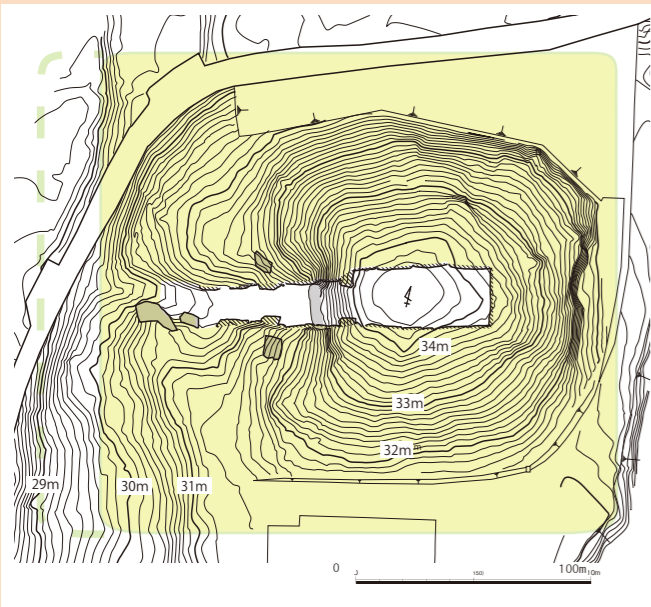


しんぐうこふん 新宮古墳 (坂出市府中町)

新宮古墳は6世紀後半に築造された、石室に巨大な石を使う巨石墳で、綾北平野に相次いで築造される巨石墳の先駆けとなる古墳です。新宮古墳の周辺では、その後、城山城(古代山城)、開法寺、讃岐国府といった中央政権と深いつながりを持つ重要な施設が相次いで造られます。新宮古墳はこの地域の重要性を考える上で鍵となる古墳です。



伐採作業も終了いよいよ測量開始



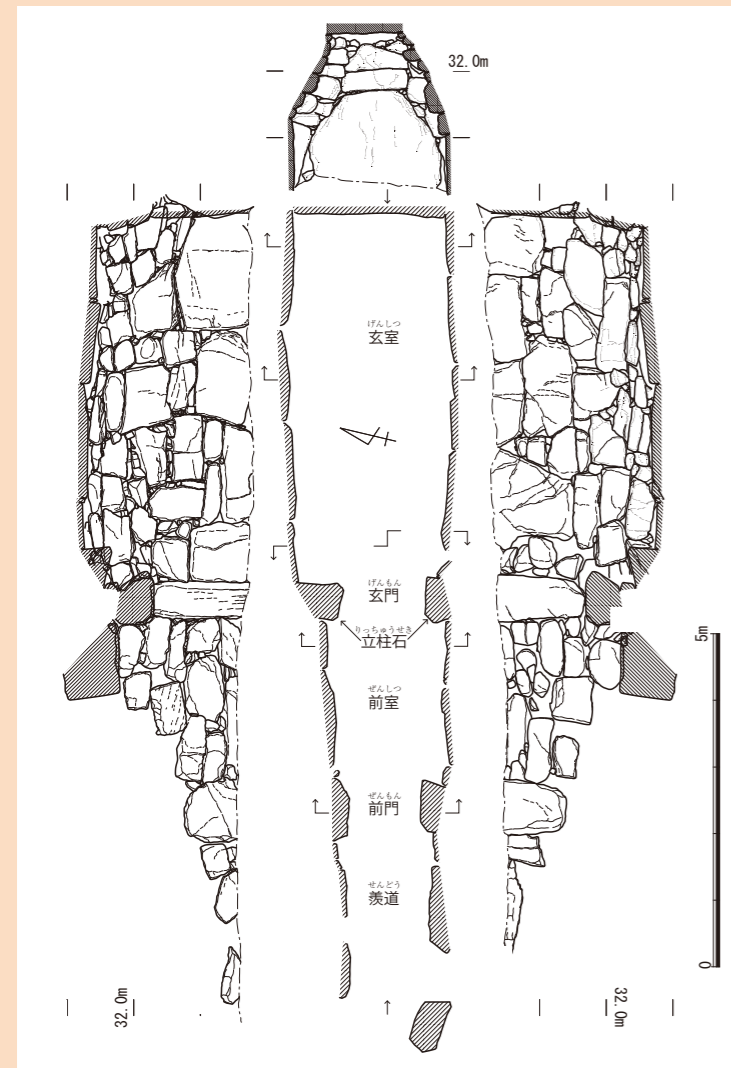
墳丘測量図

今年度の讃岐国府跡の発掘調査の開始に先立ち、10月の1ヶ月間、ミステリーハンター(国府ボランティア)と新宮古墳の測量調査を実施しました。最初は墳丘に繁った樹木の伐採からですが、10月の初めはまだまだ暑い日も多く、暑さとやぶ蚊の大群と戦いながら墳丘と周囲の樹木や下草を刈り取り、測量調査を行いました。

新宮古墳の測量調査の結果、墳丘と石室の規模・形状が明らかになりました。石室は全長12mで、遺体を安置する玄室と羨道の前に前室を持つ複室構造になっています。この石室の規模は県下では10指に入る大きさです。墳丘は1辺約20mの方墳であることがわかりました。これまで新宮古墳は円墳とされてきましたが、同じ綾北平野の巨石墳で、昨年度測量調査を実施した穴薬師(綾織塚)古墳や醍醐3号墳が方墳であることを考え合わせると興味深い結果となりました。



石室の測量を職場体験の中学生が見学。



石室測量図

発掘現場から 『新宮古墳の測量調査』

展示・イベントのお知らせ

【展示】

●『讃岐国府跡を探る5』

日 時：平成26年1月9日(木)～5月8日(木)
9時～17時 ※土・日・祝日は休館

場 所：香川県埋蔵文化財センター第2展示室
観覧料：無料

平成24年度の発掘調査では讃岐国府跡の中心施設の一部を明らかにすることができ、大きな成果をあげることができました。今回の展示では昨年度の調査成果を中心に讃岐国府について遺物とパネルで紹介いたします。

【イベント】

●香川県埋蔵文化財センター考古学講座

『讃岐国府が置かれた時代を知るために』 講師：真鍋貴匡

日 時：平成26年2月8日(土) 10時～12時

場 所：香川県埋蔵文化財センター 講習室

定 員：30名(申し込み先着順)
聴講無料

お申し込み方法：事前に電話・メールでお申し込みください。
※メールの場合はお名前、ご連絡先を明記して下さい。
電話：0877-48-2191
メール：maibun@pref.kagawa.lg.jp